



## ネットワーキングとアプリケーション制御の優位性により、次世代ファイアウォールFortiGateを選択 FortiGateをコントローラとして利用した無線LAN環境を全社展開

ソフトウェアの開発・販売やアウトソーシングサービスなどを行う独立系システムインテグレーターの富士ソフトは、2014年8月に閉域網内通信とインターネット通信を分離するため、これまでのデータセンターに設置したProxyと次世代ファイアウォールを使用した一般的なWEB閲覧環境から、インターネットを拠点から直接接続できる環境へ移行するために、各拠点へ安価なインターネット回線とFortiGateを導入した。翌2015年9月には各拠点のFortiGateを無線LANコントローラとする無線LAN環境を全社で整備した。両ソリューションの構築・運用によって得られた知見は、今後同社が展開するフォーティネット製品によるビジネスに活かされていく。

### 導入・構築のポイント

- (1) 各拠点でインターネット、閉域網、社内LAN接続を実現し、通信環境を改善
- (2) 各拠点のネットワークおよびセキュリティ環境を一元管理
- (3) 各拠点で導入したFortiGateを無線LANコントローラとする無線LAN環境構築による無線通信環境の向上

### 富士ソフト株式会社

本社所在地 神奈川県横浜市中区桜木町1-1  
 設立 1970年5月  
 国内拠点 25拠点  
 従業員数 5,551名(単体)、11,395名(連結)  
 ※2015年9月末現在

自動車、FA・OA、モバイル、家電等に関連する組込系ソフトウェアの開発、金融、製造、流通、文教分野等における業務系システムの構築を中心に、近年では、「クラウド×ロボット×モバイル」をキーワードに、独立系の強み／高い技術力／豊富な経験を活かしたサービスを提供。



富士ソフト株式会社  
 執行役員  
 技術本部副本部長  
 ITマネジメント部長  
**山岡 寛典氏**



富士ソフト株式会社  
 技術本部  
 ITマネジメント部  
 情報システム室主任  
**柴崎 貴弘氏**

### 技術力と提案力を コアコンピタンスに成長

2015年5月に創業45周年を迎えた富士ソフトは、ソフトウェアの開発・販売やアウトソーシングサービスなどを行う独立系システムインテグレーターとして、高い技術力と提案力で成長を続けてきた。

「毎年30%成長、営業利益率10%、1株あたり利益50円を経営目標とする『3150』をスローガンに邁進してきた結果が、現在の富士ソフトの姿です」。執行役員技術本部副本部長ITマネジメント部長の山岡寛典氏は、成長の原動力をこう説明する。

同社の高い技術力の源泉は、モノづくりを支えてきた組込／制御系テクノロジーにあり、現在それらは情報家電や自動車制御などに生かされている。それと同時に業務系システムではコンサルティングから、開発、構築、サポートまでトータルで最適なソリューション提供に尽力している。こうした組込／制御系および業務系システムの開発ノウハウをベースに、付加価値の高い自社製品やクラウドサービスが生み出されてきた。一方、近年は人型のコミュニケーションロボット「PALRO」などのロボットテクノロジーや人工知能、鼻軟骨の再生医療研究など医療分野への進出も果たしている。

### 各拠点から直接インターネット 接続可能なネットワークに再構築

神奈川県横浜市の桜木町駅前には本社を構える富士ソフトは、全国に24拠点のランチオフィスと4カ所のデータセンターを擁している。全国の拠点は広域イーサネット

による閉域網を構築し、データセンターの基幹業務系システムを利用している。一方、メール等で利用しているクラウドサービスやインターネットへは、1カ所のデータセンターを経由して接続してきた。

しかし、社内システムすべてのトラフィックが広域イーサネットを流れるため、外部サービス等のトラフィックが増大するにつれ、拠点間ネットワークにボトルネックが発生するようになった。特に拠点によっては、広域イーサネットへのアクセス回線の契約帯域が不足し、クラウドサービス等の利用に支障を来すこともあった。

「インターネット接続は基幹業務系ネットワークと切り離し、各拠点から直接抜けられる分散接続の方が最適と判断しました。ただ、ネットワークの再構築において、既存の広域イーサネットと各拠点のインターネット接続を合計した運用・保守コストが従来のコストを下回ること、かつセキュリティレベルを落とさないことが条件でした」(山岡氏)

セキュリティ要件は、従来パロアルトネットワークスのファイアウォールで実現していたアプリケーションレベルの識別・制御が可能であること、さらに、万一マルウェアに感染した端末のC&Cサーバーへのバックドア通信を検知・ブロックできることが求められた。

### ネットワーキング機能と アプリケーション制御の優位性

こうした要件を満たすネットワークセキュリティプラットフォームとして各ベンダーの次世代ファイアウォールを比較検討した結果、

採用されたのがFortiGateだった。セキュリティ機能を踏まえFortiGateに対する評価を、技術本部ITマネジメント部情報システム室主任の柴崎貴弘氏は次のように話す。「各拠点のファイアウォールは、インターネット、広域イーサネット、拠点内LANの3つのインタフェースを管理する必要があります。FortiGateはネットワーキング機能が優れていることと、アプリケーション制御や仮想機能(VDOM)によって、様々な要件に応えられると判断しました。

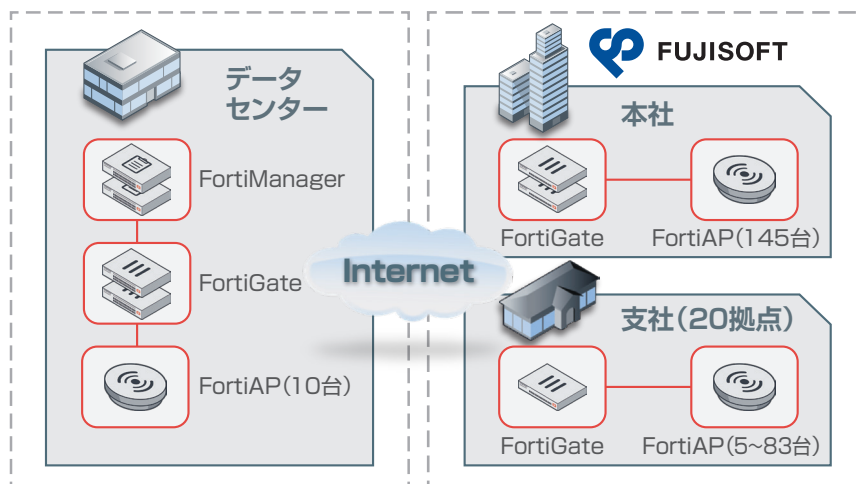
また、データセンターに導入していた従来のパロアルトネットワークスのファイアウォールを各拠点に展開した場合は、別途ルータが必要になるのに対し、FortiGateのルータ機能を利用して構築できることもコスト削減の点で優位性が高かったという。FortiGateは、本社やデータセンターなどにFortiGate 800C、その他の拠点には規模に応じてFortiGate 300C、FortiGate 100D、FortiGate 90Dを合計25台導入。これにより、クラウドサービス等の外部トラフィックの増大に対応したインターネット接続と基幹系業務の閉域網分離が実現し、それぞれの通信のレスポンスは大きく改善した。また、各拠点のインターネットからデータセンターへの接続も可能になったことから、閉域網と合わせた社内ネットワークの冗長化も実現。「それをFortiGate単体でできたことは大きい」(柴崎氏)と強調した。

## FortiGateをコントローラに無線LAN環境を整備

一方、社内の無線LAN環境は、各拠点で自律型の無線LANをそれぞれ独自に構築



本社の天井に設置されたFortiAP



して利用していた。「2年ほど前にワークスタイルの変革を目指してBYOD(Bring Your Own Device)を開始しており、無線対応のスマートデバイスが社内にあふれるようになりました。また、自社製品であるスマートドキュメントサービス『moreNOTE』によるペーパーレス会議等の実施に伴い、社内の無線LAN環境を整備する必要がありました」(山岡氏)とし、全社で無線LAN環境を統一するためにコントローラ型の無線LANシステムの導入を検討。FortiGateを無線LANコントローラとするソリューションの採用に至った。

「FortiGateをコントローラとするため、他社ソリューションのように各拠点へのコントローラ導入やコントローラライセンスが不要でありコスト面での懸念も、小さな拠点の課題だった設置スペースの問題もありませんでした。また、3空間ストリームを使えるので最大で1.3Gbpsの帯域を確保でき、1フロアの在席社員全員が同時に通信でき、かつ半数以上が30Mbps以上使えるという要件をクリアできました」(柴崎氏)と、フォーティネットの無線LANソリューションを高く評価する。

導入したアクセスポイントFortiAPは本社ビル145台、秋葉原オフィス83台をはじめ、全社で約500台を超えた。従来のAPは地方拠点で1台、本社でも1フロア1台という環境だったので、通信環境は飛躍的

に向上した。「情報システム室で各拠点のFortiGateを介して各APを一元的に管理できるようになり、拠点での通信障害の対応も非常に効率的になりました」(柴崎氏)という。

今後、ゲストアクセスの環境も整備する予定だが、「統合脅威管理機能を持つFortiGateの優位性を生かしたセキュアな無線LAN通信を実現できる」(柴崎氏)と話す。

## 自社環境で得たノウハウをFortiGate販売に生かす

「われわれのビジネスは、BYODによるワークスタイルの変革であったり、セキュリティであったりを切り口として、お客様の課題に対して総合提案力を強みとしています。ネットワークインフラにしても、提案のためのノウハウは自社で運用してみて蓄積できます」(山岡氏)といい、自社はソリューションの実証フィールドだと位置付けている。FortiGateによる分散ネットワーク環境でのセキュリティ管理の一元化、FortiGateをコントローラとするセキュアな無線LAN環境の実現は、『moreNOTE』を利用したソリューション提案などの前提となる最適なスマートデバイス運用のノウハウを得ることができるといふ。同社は今後、FortiGateをはじめとするフォーティネット製品のビジネス展開に役立てていく計画である。

お問い合わせ

**FORTINET**  
フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032  
東京都港区六本木 7-18-18  
住友不動産六本木通ビル 8階  
www.fortinet.co.jp/contact